



東日本大震災から6年

たくさんの支援にありがとう

この6年間、いわて生協では一日も早い復興を願い、組合員の協力と募金、全国の生協からの支援のもと、被災地支援に取り組んできました。こうした取り組みに、たくさんの「ありがとう」が寄せられています。これからも被災地に寄り添った支援を、24万人組合員の力を合わせて続けていきましょう。

毎日のくらしを支える買い物支援

移動店舗は仮設団地・災害公営住宅79ヶ所に運行。宮古市・山田町の無料買い物バスとあわせ、のべ40万人のくらしを支えてきました。



6年間の
買い物支援
40万人

被災地メーカー・生産者を商品利用で応援



店舗、共同購入での積極的な利用普及のほか、復興支援・地産地消フェスタでも利用を広げました。

6年間の
商品利用
21億円



東日本大震災から6年

たくさんの支援にありがとう

この6年間、いわて生協では一日も早い復興を願い、組合員の協力と募金、全国の生協からの支援のもと、被災地支援に取り組んできました。こうした取り組みに、たくさんの「ありがとう」が寄せられています。これからも被災地に寄り添った支援を、24万人組合員の力を合わせて続けていきましょう。

1万人のボランティアで笑顔と元気を届ける活動



ふれあいサロンや食事会、リフレッシュツアーなどにのべ2万8千人が参加。1万2千人のボランティアが開催を支えています。



これからも震災を忘れない



6年間の「復興支援基金」活用状況	
被災地でのふれあいサロン	5,390万円
バスボランティア・炊き出し	1,850万円
無料お買い物バス支援	2,069万円
グループ活動補助	898万円
被災地支援活動助成金	191万円
その他 (リフレッシュツアーなど)	2,628万円
計	1億3,026万円

(2017年2月20日現在)

いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。



いわて生協では一日も早い復興を願い、組合員の協力と募金、全国の生協からの支援のもと、変化する被災地の状況・要望に寄り添った支援に取り組んでいます。

2017年4月～6月の活動

被災地で活動を続ける7団体を助成金で支援 ～被災地でのシンセサイザー演奏会



全国の生協から寄せられた募金をもとに、「被災地支援活動助成金」を新設。今年は7団体の活動を支援しています。そのひとつ「シンセサイザー演奏を聴く会」による演奏会が、沿岸20会場で開催されました。

復興支援・ 地産地消フェスタ

2会場にのべ97団体（うち被災地から31団体）が出店し、3万3千人が来場。沿岸・県内の商品が多く利用されました。



ご協力ありがとうございます

東日本大震災支援募金

210万8,651円

(6月20日現在)

岩手ビッグブルズ 親子クリニック

宮古市の親子30組を招待し、岩手ビッグブルズによるクリニックを開催。終始笑顔があふれました。



復興支援募金活用状況

被災地でのふれあいサロン	257万9,257円
バスボランティア	55万1,118円
グループ活動補助	44万 756円
リフレッシュツアー・復興応援ツアー	54万6,814円
その他	21万 170円
計	432万8,115円

(2017年3月21日～7月7日)

忘れない 伝える 続ける つながる

COOP いわて生活協同組合

いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。



いわて生協では一日も早い復興を願い、組合員のみなさんからの募金と協力、また、全国の生協からの支援のもと、変化する被災地の状況・要望に寄り添った支援を継続しています。

2017年7月～8月の活動

「いっしょにつくって食べよう」生協料理サロンを宮古で毎月開催



今年2月から、宮古地域の組合員さんが月1回、市内の災害公営住宅の集会室などで生協料理サロンを開催。「家でも作ってみたい」との声が寄せられ、食事を作る意欲、食べる意欲につながっています。



ボランティアバス を継続

震災直後からボランティアバスの運行を継続。7月は大槌の河川敷で草取りを、8月は陸前高田で花壇の整備などをしました。



ご協力ありがとうございます

東日本大震災支援募金
372万3,582円

(8月20日現在)

楽天戦に少年野球 チームを招待

「夏休みの楽しい思い出に」と、陸前高田の少年野球団の親子30人を、仙台での「楽天ゴールデンイーグルス」の試合に招待しました。イベントへの参加や試合観戦で喜ばれました。



復興支援募金活用状況

被災地でのふれあいサロン	391万8,476円
バスボランティア	66万4,480円
グループ活動補助	59万9,903円
リフレッシュツアー・復興応援ツアー	74万6,422円
その他	33万 332円
計	625万9,613円

(2017年3月21日～8月28日)

忘れない 伝える 続ける つながる

COOP いわて生活協同組合

いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。



いわて生協では一日も早い復興を願い、組合員のみなさんからの募金と協力、また、全国の生協からの支援のもと、変化する被災地の状況・要望に寄り添った支援を継続しています。

2017年9月～11月のおもな活動

復興支援・地産地消フェスタ3会場&宮古復興応援生協まつりに6万人!



沿岸メーカーの生業支援として、内陸の3会場ではフェスタを開催しました。コープ関コルザでは、佐勇水産(石巻市)製造アイコープ加工切り身を、組合員さんが試食おすすめしました。



宮古復興応援生協まつりでは、大阪・鳥取・山形の生協が特産品を販売。売り上げから23万5千円を支援募金にいただきました。

震災を忘れない! 復興応援バスツアー

「沿岸へ行き被災と復興の現状を知ろう」と12企画に177人が参加。二戸から陸前高田へのツアーでは、津波の高さに驚きの声が上がりました。

津波の高さが表示してある。



**東日本大震災
支援募金
522万5,956円**
(2017年3月21日～10月20日)

復興支援基金活用状況	
被災地でのふれあいサロン	532万3,925円
リフレッシュツアー・復興応援ツアー	188万1,349円
バスボランティア	100万3,199円
グループ活動補助	91万5,547円
その他	87万1,394円
計	999万5,414円

(2017年3月21日～11月17日)

「生活橋復旧支援募金」 岩泉町へ100万円



岩泉町副町長中居健一様といわて生協副理事長内澤祥子

昨年8月の台風10号により流失した「生活橋」の復旧費用にと、組合員から寄せられた募金63万円と災害偶発積立金から37万円の合わせて100万円を岩泉町に贈呈しました。

忘れない 伝える 続ける つながる

COOP いわて生活協同組合

いわて生協は、協同の力で被災地支援を続けています



いわて生協では一日も早い復興を願い、組合員のみなさんからの募金と協力、また、全国の生協からの支援のもと、変化する被災地の状況・要望に寄り添った支援を継続しています。

2017年12月のおもな活動

「年末に楽しいひと時を」年末昼食会を開催!



沿岸被災地25か所での「年末昼食会」には300人が参加。ボランティアと住民の方々が料理を囲んで楽しい時間を過ごしました。



岩泉町の7か所で「年末昼食会」を初めて開催し、47人が参加。全国の生協からのプレゼントに笑顔が広がりました。

「被災地支援活動助成金」13団体に贈呈



2018年は沿岸や岩泉町で支援活動に取り組む13団体に、総額307万円を助成します。この助成金は全国の生協からの募金を活用しています。

- 贈呈団体(活動地域)**
- ふじばたけ・ふれ愛サロン(宮古市)
 - 一般社団法人Tsubomi(大槌町)
 - 一般社団法人三陸駒舎(釜石地域)
 - 一般社団法人ちーむ麻の葉(陸前高田市)
 - NPO法人クチェカ(岩泉町)
 - 宮古読み聞かせの会おどっつあんS(宮古市)
 - シンセサイザー演奏を聴く会(沿岸地域)
 - Home of Wisdom(陸前高田市・大船渡市・住田町)
 - 碓石地区復興まちづくり協議会(大船渡市)
 - もっちいと森の仲間たち(陸前高田市・岩泉町)
 - CAPリアス(沿岸地域)
 - おおつちバラエティショー実行委員会(大槌町)
 - 子育てサークルきっぴんきっず(大船渡市)

ご協力ありがとうございます

東日本大震災支援募金
730万8,443円
 (2017年3月21日~12月20日)

復興支援募金活用状況	
被災地でのふれあいサロン	685万9,268円
リフレッシュツアー・復興応援ツアー	200万2,709円
バスボランティア	100万6,510円
グループ活動補助	104万6,804円
被災地支援活動助成金	307万8,240円
その他	117万7,435円
計	1,517万 966円

(2017年3月21日~12月20日)

忘れない 伝える 続ける つながる



東日本大震災から7年 みんなの支援にありがとう



いわて生協では、一日も早い復興を願い、組合員のみなさんからの協力と募金、全国の生協からの支援のもと、この7年間被災地の支援に継続して取り組んできました。こうした取り組みに、たくさんの「ありがとう」が寄せられています。被災地に寄り添った支援を、24万人組合員の力を合わせて、これからも続けていきましょう。

毎日の暮らしを支える 買い物支援



7年間の
買い物支援
47万人

移動店舗を災害公営住宅・仮設団地79か所に運行。無料買い物バスとあわせ、のべ47万人の暮らしを支えてきました。

被災地メーカー・生産者を 商品利用で応援



7年間の
商品利用
26億円

店舗、共同購入での積極的な利用普及のほか、復興支援・地産地消費フェスタでも利用を広げました。

1万人のボランティアで 笑顔と元気を届ける活動



7年間の参加
3万2千人

ふれあいサロンや食事会などに、のべ3万2千人が参加。1万6千人のボランティアが開催を支えてきました。

震災を忘れない



7年間の
支援募金
2.5億円

復興支援基金 7年間の活用状況	
被災地でのふれあいサロン	6,148万円
バスボランティア・炊き出し	2,322万円
無料お買い物バス支援	3,664万円
グループ活動補助	1,034万円
被災地支援活動助成金	498万円
その他 (リフレッシュツアーなど)	4,512万円
計	1億8,178万円

(2018年1月20日現在)

忘れない つながる 伝える 続ける

いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。



いわて生協では一日も早い復興を願い、組合員のみなさんからの募金と協力、また、全国の生協からの支援のもと、変化する被災地の状況・要望に寄り添った支援を継続しています。

2018年4月～7月の活動

「ふれあいサロン」の開催が3,500回に



「被災地に笑顔と元気を届けよう」と、2011年6月から仮設住宅集会所などで開催してきた「ふれあいサロン」が3,500回の節目を迎えました。のべ2万9千人が参加し、のべ1万5千人のボランティアが開催を支えてきました。



この日は、犬の小物入れのクラフトづくり。

「復興支援・地産地消フェスタ」を2会場で開催



被災地メーカー・生産者を商品利用で応援しようと、5月はベルフ牧野林(滝沢市)、6月はベルフ八幡平で開催し、合わせて3万4千人が来場。出店した沿岸の業者から、「利用してもらうことが励みになる」と喜ばれました。

ご協力ありがとうございます

東日本大震災支援募金
210万5,927円

(6月20日現在)

復興支援募金活用状況

被災地でのふれあいサロン	209万4,865円
バスボランティア	43万9,449円
グループ活動補助	42万4,055円
文化企画(宮古・けせん)	32万5,587円
復興応援ツアー	5万2,920円
その他	4万2,976円
計	337万9,852円

(2018年3月21日～7月5日)

忘れない 伝える 続ける つながる

COOP いわて生活協同組合

いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。



いわて生協では一日も早い復興を願い、組合員のみなさんからの募金と協力、また、全国の生協からの支援のもと、変化する被災地の状況・要望に寄り添った支援を継続しています。

2018年度の活動②

ボランティアバス 大槌町へ運行



震災直後から運行を継続しているボランティアバス。9月2日、大槌町での最後の活動には、コープデリ連合会の役職員14人を含む33人が参加し、菜の花畑の整地と種まきを行いました。10月には陸前高田市で、12月には沿岸での年末昼食会を行います。

ご協力ありがとうございます

東日本大震災支援募金
391万1,732円

(8月20日現在)

「忘れない」の思いをモチーフにこめて

「内陸でもできる支援活動」として、被災された方に暖かい冬を過ごしてもらおうと始まった「毛糸のモチーフ作り」。このモチーフをつなげてひざ掛けを作り、岩泉町の仮設住宅にお住まいの約250人に贈る予定です。



24片をつなげて1枚のひざ掛けにします。

復興支援募金活用状況

被災地でのふれあいサロン	279万7,538円
グループ活動補助	68万4,432円
バスボランティア	66万4,385円
文化企画(宮古・けせん)	32万5,587円
復興応援ツアー	17万3,798円
その他	27万 280円
計	491万6,020円

(2018年3月21日～9月10日)

西日本豪雨災害支援

緊急支援募金

795万 277円

(9月6日現在)

ご協力ありがとうございました

お寄せいただいた募金は、日本生協連を通じて大きな被害を受けた府県に「義援金」として贈呈するほか、「支援金」として現地での支援活動に活用されます。

広島県へ職員2人を派遣

いわて生協では、この間の東日本大震災支援へのお返しの意味もこめて、全国の生協といっしょに支援活動に取り組んでいます。8月には、広島市安芸区ボランティアセンターの運営支援へ4日間ずつ2人の職員を派遣しました。



現地では、ボランティアの受付や機材管理などの活動を行いました。

忘れない 伝える 続ける つながる

COOP いわて生活協同組合

いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。



いわて生協では一日も早い復興を願い、組合員のみなさんからの募金と協力、また、全国の生協からの支援のもと、変化する被災地の状況・要望に寄り添った支援を継続しています。

2018年度の活動 ③

「第8回宮古復興応援生協まつり」に7千人



東日本大震災からの復興を応援し、地産地消を広げようと、2011年から開催。今年は県内16業者(うち沿岸9業者)が出店し、7千人の来場者が買い物を楽しみました。

医療生協さいたまと「健康フェスタ」開催



2013年8月から毎月、大槌町のふれあいサロンに参加してくれた「医療生協さいたま」のみなさん。年1回開催している「健康フェスタ」を、今年はいわて生協と共同で釜石で開催。健康チェックとアドバイス、笑いヨガなどを行い、楽しく過ごしました。

ご協力ありがとうございます

東日本大震災支援募金
472万2,293円
(11月7日現在)

復興支援募金 活用状況	
被災地でのふれあいサロン	421万2,312円
グループ活動補助	100万 405円
バスボランティア	78万1,736円
文化企画(宮古・けせん)	68万1,272円
リフレッシュツアー 復興応援ツアー	33万5,388円
その他	37万4,705円
計	738万5,818円

(2018年3月21日~11月5日)

西日本豪雨災害緊急支援募金
795万9,877円

北海道胆振東部地震緊急支援募金
357万7,136円(11月7日現在)

忘れない 伝える 続ける つながる

COOP いわて生活協同組合

いわて生協は、協同の力で 支援活動を続けています。



いわて生協では一日も早い復興を願い、組合員のみなさんからの募金と協力、また、全国の生協からの支援のもと、変化する被災地の状況・要望に寄り添った支援を継続しています。

2018年度の活動 ④

5,700枚の「忘れない」の思いをつなげて 被災された方にひざ掛けプレゼント

「冬を暖かく過ごしてほしい」「忘れないの思いを伝えよう」と、毛糸のモチーフづくりを組合員によびかけ、5,688枚が集まりました。モチーフをつなげたひざ掛け237枚を、震災や台風10号で被災された方にプレゼントしました。



肩に掛けても
あったかくて
とってもうれしい!

みなさんの思い、
ありがたいねえ。

陸前高田のふれあいサロン参加者へプレゼント。



組合員ボランティアがモチーフをつなげてひざ掛けに。

ご協力ありがとうございます
東日本大震災復興支援募金

757万8,409円 (2018年3月21日
~12月20日)

復興支援募金	活用状況
ふれあいサロン・昼食会	585万3,908円
被災地支援活動助成金	302万4,200円
グループ活動補助	133万6,461円
バスボランティア	78万4,013円
文化企画(宮古・けせん)	68万1,272円
リフレッシュツアー 復興応援ツアー	39万8,892円
その他	44万5,207円
計	1,252万3,953円

(2018年3月21日~12月20日)

西日本豪雨災害 広島に「ひつつみ隊」を派遣

生協ひろしまからの東日本大震災被災地支援の恩返しも含めて、いわて生協職員と沿岸組合員5人が、広島県の仮設団地2か所で130人にひつつみなどのお振る舞いをしました。「わざわざ岩手からありがとう」と喜ばれ、地元マスコミの取材もありました。



岩手の郷土料理
“ひつつみ”です

ひつつみ、
おいしいね

忘れない 伝える 続ける つながる

COOP I W A T E **いわて生活協同組合**